

第3学年〇組 道徳科学習指導案

令和2年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 主 題 名 全ての命を大切に D 生命の尊さ

2 本時のねらい

- 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。

3 準備・資料

- 教材名「ヒキガエルとロバ」
- 教師・・・挿絵

4 学習指導過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
方向付け	1 価値への方向付けをする。 ○どんな生き物を飼ったことがあるかを話し合う。 ・家で、犬を飼っている。 ・金魚をもらって飼っている。 ・ハムスターを飼っているけれど、世話するのを忘れてしまう。	5	○資料についての興味・関心を高める。 ○身近な生き物の命を思い起こすために、飼った経験のある生き物についての話をする。 ○「生き物の命」への方向付けをする。
価値	2 教材を読み、内容について話し合う。		○教材を範読し、内容を把握させる。
	アドルフはどんな気持ちでヒキガエルに石を投げたのでしょうか。		
	・気持ち悪いから投げてやれ。 ・当たったぞ。面白い。 ・もっと困らせてやろう。	10	○面白半分で、石を投げてヒキガエルを困らせていることを押さえる。 ○小さい命を軽く見ている心情を捉えさせる。
追	アドルフは、ロバがヒキガエルをひかないように、新しいわだちをつけて行くのを見たとき、どんなことを思ったでしょう。		
求	・どうしてひかずに、新しいわだちにしたんだろう。 ・ロバは、荷物が重くて大変そうなのに、よくわだちを変えたな。 ・力を振り絞って、ヒキガエルを救おうなんて信じられない。 ・小さな命を救おうとして、一生懸命だな。	15	○ロバが年を取っていて大変な状況にも関わらず、一生懸命わだちを変えようとしている場面を確かめる。 ○アドルフとロバの違いが対比できるように板書の両極にまとめる。
把握	アドルフは、ヒキガエルとロバをいつまでもながめながら、どんなことを考えていたでしょう。		
	・ヒキガエルにかわいそうなことをしてしまった。 ・自分たちは、なんて残酷なことをしてしまったんだろう。 ・あんなに苦しそうにしていたのに、ロバはすごいな。 ・どんな命であっても大切にしないとけないな。	25	○いつまでも眺める場面から、アドルフのいろいろな気持ちを引き出し、板書で気持ちを膨らませる。 補 アドルフたちの行動と比べるとどう思うか。 補 アドルフの手から石が足下に滑り落ちたのは、どうしてだろう。 評 どんな生命も大切にしようとする気持ちを高めようとしている。（発表）

価値の自覚	3 今日の学習を振り返る。	
	今日の学習からどんな大切なことを学びましたか。	
まとめ	4 生活の中で命を大切にしている行動を紹介する。	35
		45

5 本時の評価

- 生命の尊さを感じ取り、生命あるもの全てを大切にしようとする心情を高めている。(発表)

6 板書計画

ヒキガエルとロバ

P.98の挿絵

アドルフのヒキガエルに対する気持ち。

- ・気持ち悪い。
- ・当たったぞ。
- ・面白い。
- ・困らせてやろう。



なんて残こくなことをしたのだろう。

どんな命も大切にしないと。

ヒキガエルがかわいそうだった。

ロバはえらいな。

P.100上の挿絵

ロバの行動を見て、どう思ったか。

- ・どうして。
- ・ヒキガエルをすくおうとしている。
- ・ロバは一生けん命。